

豪雨報道読み比べ

永平寺町・志比北小
11人、2紙から学ぶ



永平寺町志比北小で18日、新聞記事の読み比べを行った。5、6年生11人が西日本豪雨被害を報

じる被災地の中国新聞と福井新聞を読み比べ、記事の内容や扱いに違いが出ることなどを学んだ。

福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターが講師を務めた。中国新聞は西日本豪雨で被害が大きかった広島県の地方紙。2紙を使い、報道の仕方にどんな違いがあるか△写真の大きさ△など

児童は「中国新聞では写真を何枚も使い被害情報が詳しい」「1面の記事の扱いも(被災地の)中国新聞が大きい」と地域によって記事の大きさなどに違いが出ることを見つけ発表していた。また論説、社説も読み比べた。

西村宏樹君(6年)は



西日本豪雨を報じる新聞の読み比べをする児童=18日、永平寺町志比北小

「新聞の比較は初めて。新聞がどのように西日本豪雨を伝えたか興味が湧いた」と話していた。
(宮本宰直)